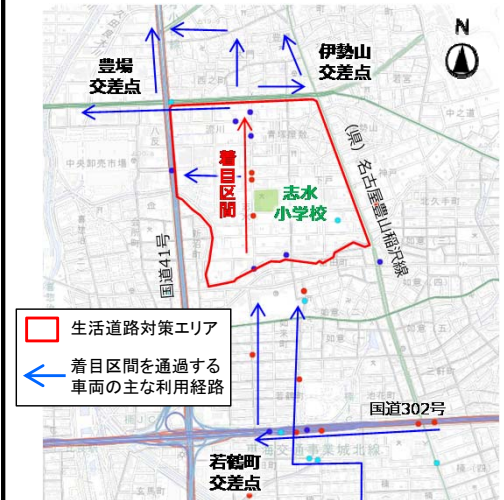


豊山町 志水地区

事故対策の必要性

●幹線道路の渋滞に起因する抜け道交通が、生活道路（志水小学校付近の通学路等）の安全性を著しく阻害している状況。



<ETC2.0を用いた抜け道車両の把握>



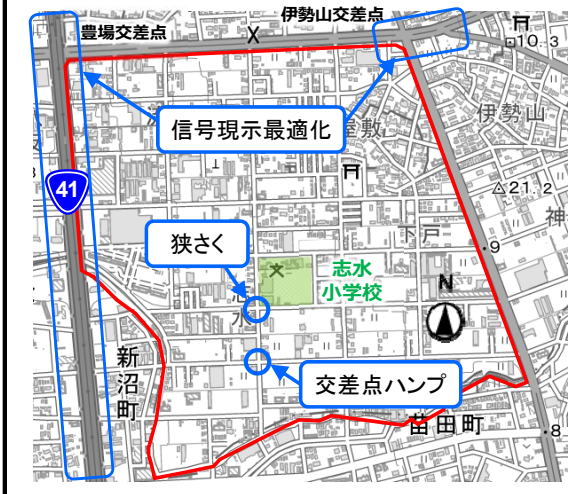
<幹線道路(国道41号)の渋滞状況>



<生活道路の交通状況>

対策内容

●生活道路対策として、「交差点ハンプ」および「狭さく」を設置。(令和3年9月～11月)
●幹線道路対策として、「信号現示最適化」を実施。(令和3年2月以降)



<対策実施箇所および対策メニュー>



<狭さく設置状況>



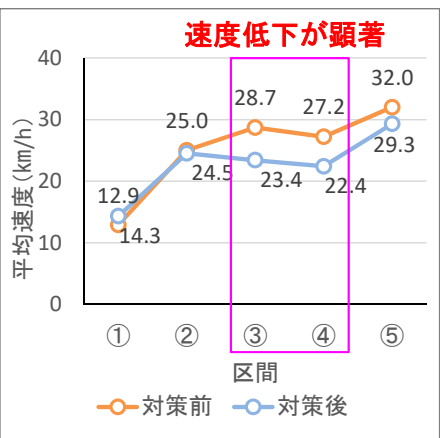
<交差点ハンプ設置状況>

整備効果

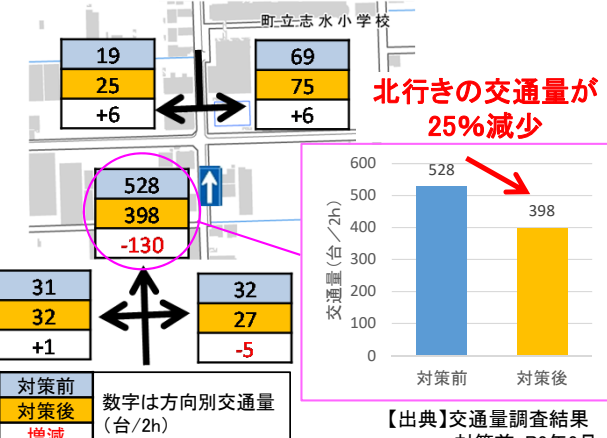
●対策前、対策後の状況変化をETC2.0プローブデータや交通量調査結果を用いて検証。
●「狭さく」設置箇所での速度低下は顕著であり、北行きの生活道路の交通量が減少。
●周辺の幹線道路の円滑化と相まって、通過交通が減少し、生活道路の安全性が向上。



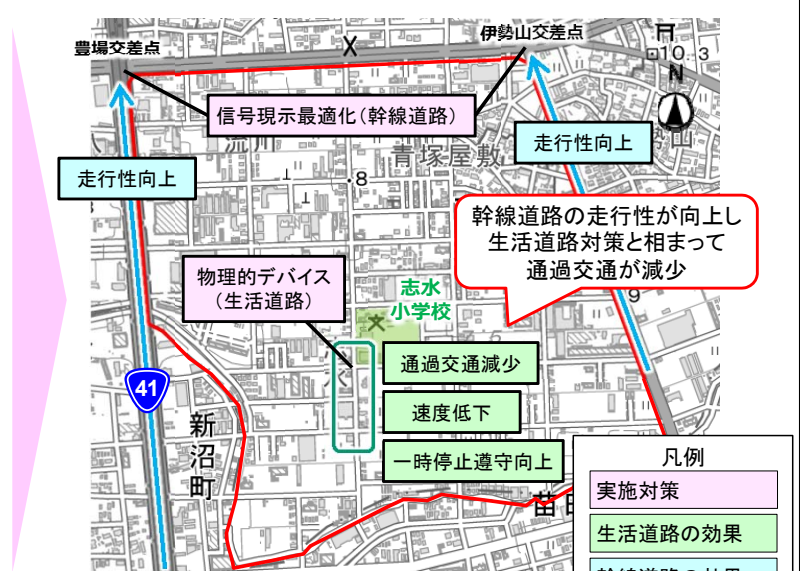
【出典】ETC2.0 対策前:R2年10月
対策後:R3年10月



<10mピッチの区間平均速度の変化>



<生活道路の交通量の変化>



<整備効果まとめ>

凡例
実施対策
生活道路の効果
幹線道路の効果